



しぶやくりつ よよぎ ちゅうがっこう
渋谷区立 代々木 中学校

YOYOGI Junior High School in SHIBUYA city

子ども主体の「未来の学校」づくり

Graduation Policy

Communication (対話)

多様な他者との主体的な「コミュニケーション」(対話)により、自分の良さ(自分らしさ)や可能性を見出すとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重することができる

Collaboration (協調)

多様な他者との「コラボレーション」(協調)により最適解・納得解を導き出し様々な社会的変化を乗り越えることができる

Innovation (革新)

新しい価値(コト・モノ)を創出することで豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができる

concept2025

「対話」を重視する ~対話により「ちがいをちからに変える」学校づくり~

multi-concept

Don't think, just do! やっちゃえ代々木!

新たな学びの構築

「学びのイノベーション」~ 対話を重視した学習者主体の学び ~
 授業を変える(各教科)

知識構成型ジグソー法をベースにドラスティックな授業デザインの転換
 主体的・対話的で深い学びの視点から社会と学びをつなぐ

Project Based Learning

地域団体・民間企業等との協創 学年・教科を越えたPBL
 Authentic Learning 「社会課題の解決」と「学び」の融合

Inquiry Based Learning × STEAM

社会に広がるテクノロジー等を最大限活用して
 実際の社会課題にアプローチ



習得-活用-探究の往還をベースに

安心・安全に挑戦できる学校環境の構築

「信じ、待ち、許す」ことを基本方針とした生徒支援

生徒を100%「信じる」こと

丁寧に指導して成果をじっくり「待つ」こと

失敗を「許す」成長につなげること

失敗できる学校文化の創造

- ◆「だったらこうしてみたら」型の指導「それはダメ(無理)でしょ」という教師の価値観をおしつけない指導
- ◆日本一「面倒見の良い」学校を目指します
- ◆「生徒指導」から「生徒支援」への転換

「いじめ対応」未然防止・早期発見・早期対応・再発防止を徹底

「不適応対応」個々に応じた学びの徹底支援

学校DXへの取組

授業・学校生活・校務等の学校に関わる全ての活動に躊躇せず先端技術を導入し、活用することで学校DXの実現を目指します。

タブレット端末の常時の持ち帰りや欠席連絡のデジタル化など、生徒・教職員・保護者・地域等の協働により、すべての関係者のデジタルシチズンシップの醸成と今後の教育の方向性を考える契機として取組を広げていきます。

地域とともに「未来社会に向けて」学びを共創する

「より良い学校教育を通して、より良い地域の未来社会を創る」ことを目指して、徹底的に学校・地域・家庭との対話によるコラボレーションを深めていきます。

特に、学校が地域における「学びの羅針盤」となることができるように、積極的な地域活動への参画・情報発信・行動連携を進めていきます。